



Color Guide

カラーガイド

※よりリアルに仕上げたいかたは、下の基本色をご覧ください。

- 塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
- カラー配合は参考値であり、写真とカラーガイドの色は異なる場合があります。

本体等ホワイト部の塗装色
ホワイト(100%) +
ネービーブルー(少量)



GUNDAM ASTRAY GREEN FRAME

モンザレッド(100%)
顔等レッド部の塗装色

本体等グリーン部の塗装色
デイトナグリーン(60%) +
グリーン(40%)



ダークグレー(100%)
武器ダークグレー部の塗装色

本体等グレー部の塗装色
ネービーブルー(70%) +
ミッドナイトブルー(30%)

ニュートラルグレー(90%) + ブラック(10%)
武器ライトグレー部の塗装色

腹部ライトグレー部の塗装色
エアクラフトグレー(80%) +
ブラック(20%)

イエロー(90%) + オレンジイエロー(10%)
目等イエロー部の塗装色

インナーシャツの
塗装色
あずき色(60%)
+ ワインレッド
(マルーン)(40%)



TROJAN NOIRET

ブルーグレー(80%)
+ ブルー(20%)
ジャケットブルーの
塗装色

肌の塗装色
はだ色(60%)
+ ホワイト(30%)
+ ピンク(10%)

髪の色
マホガニー(90%)
+ ブラック(10%)



マホガニー(100%)
+ イエロー(少量)
+ ブラウン(少量)
ブーツの塗装色

ホワイト(100%)
+ ブラック(少量)
肩グレー部の塗装色

MARKING SEAL マーキングシールは写真の位置を参考に貼ってください。



マーキングシール ②



マーキングシール ③



マーキングシール ④

バリー・ホー専用機が再現可能!

バリー・ホー 元オーブ軍パイロット。拳法家であり、モビルスーツの操縦でも拳法を自在に使う。そのため敵味方から「拳神」の異名を取る。彼のエンブレム「神無」は彼の信念である「神を信じることなく、ただ己の拳の力のみを信じる」を意味する。



※バリー機の再現時にはトロヤのマーク(②)(③)は使用しません。

1/100 SCALE MODEL GUNDAM SEED-NO. 16

© 創通・サンライズ



TROJAN'S GUNDAM ASTRAY GREEN FRAME

1/100 ガンダムアストレイ グリーンフレーム (トロヤ・ノワレ専用機)

TROJAN NOIRET



GUNDAM ASTRAY GREEN FRAME

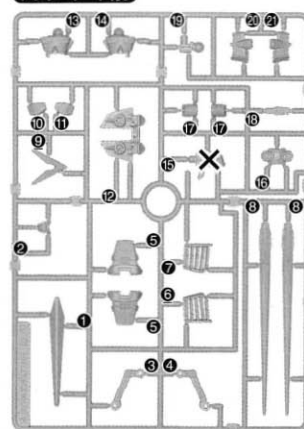
BANDAI 2009 MADE IN JAPAN ●写真の完成品は塗装してあります。

0158435

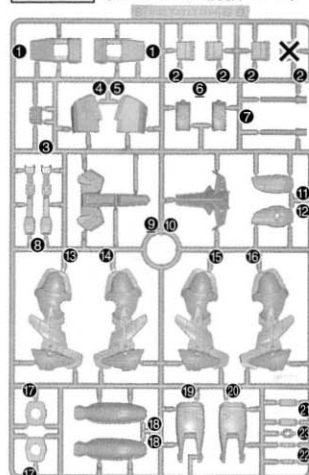
パーツリスト (X印は使用しないパーツです。)

Aパーツ (スチロール樹脂: PS)

アンダーゲート有り

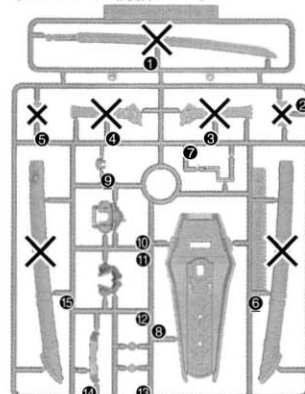


Bパーツ (スチロール樹脂: PS)



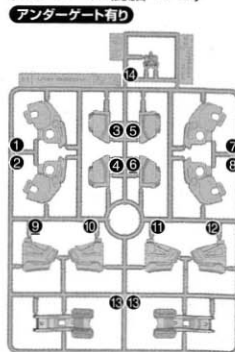
C1・C2パーツ

(スチロール樹脂: PS)

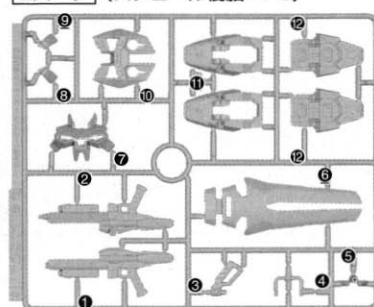


D1・D2パーツ

(スチロール樹脂: PS)

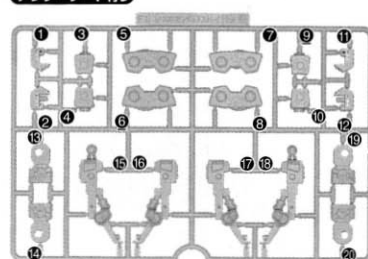


Eパーツ (スチロール樹脂: PS)



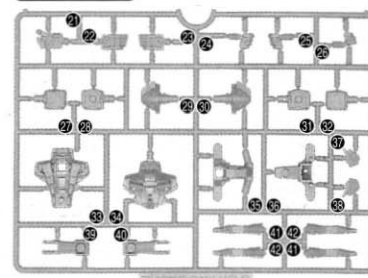
F1パーツ (スチロール樹脂: PS)

アンダーゲート有り



F2パーツ (スチロール樹脂: PS)

アンダーゲート有り

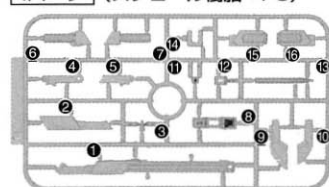


G4パーツ

(スチロール樹脂: PS)

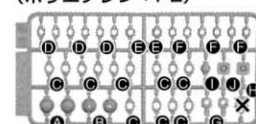


Iパーツ (スチロール樹脂: PS)



PC-116パーツ

(ポリエチレン: PE)



- シール.....1
- マーキングシール.....1

注意

必ずお読みください

- とがった部品がありますので、8才未満のお子さまには絶対に与えないでください。
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。

《組み立てる時の注意》

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった所があるものもありますが、気をつけて組み立ててください。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。



・接着をするところ



・シールの番号



・デカールの番号



・反対側に取り付けるパーツ



・両側に同じパーツを取り付ける



・向きに注意して取り付ける



・ビスの締めすぎに注意



・切り取る場所



・部品を数値の個数作ります



・先に組み立てます



・後に組み立てます



・数値に合わせて回転させます



・どちらかを選んで取り付ける



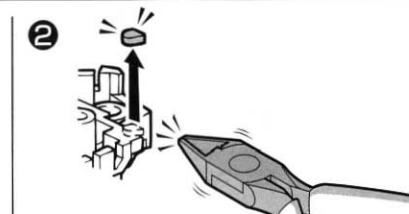
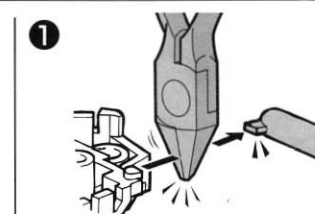
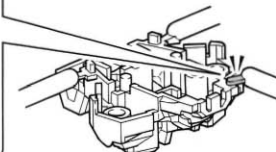
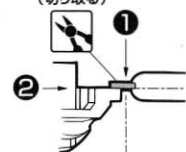
・反対側も同じように動かします

アンダーゲートの切り取り方

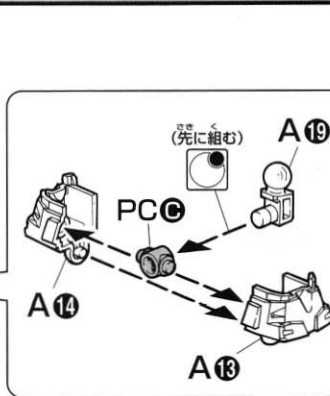
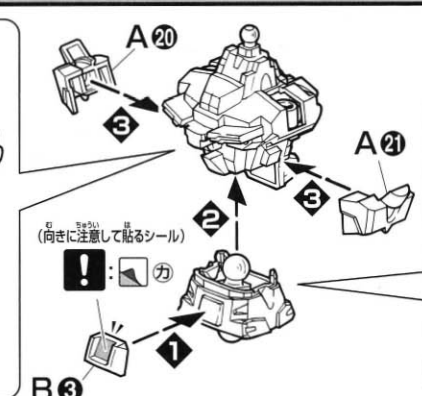
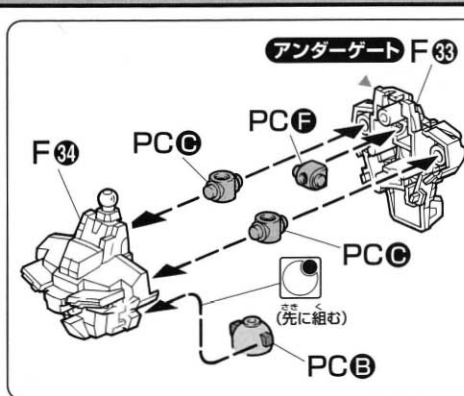
▶アンダーゲートマークの付いた部品は、下の図のようにキレイに切り取ります。

※A・D・Fパーツは下の図のように切り取ります。

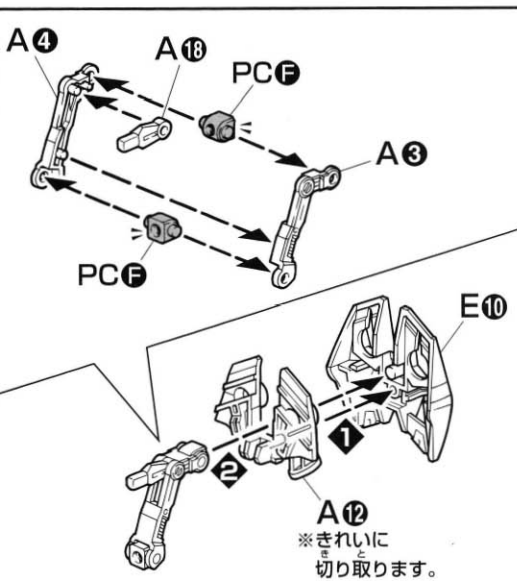
(切り取る)



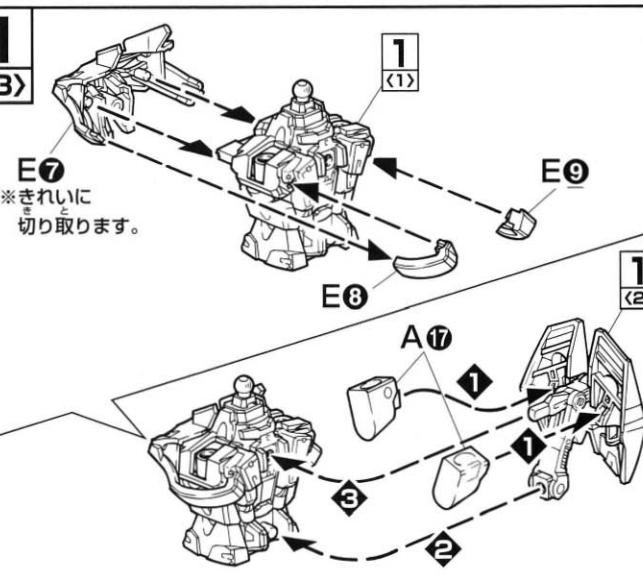
1
(1)



1
(2)



1
(3)



2

1

2

2

3

1

3

2

3

3

3

4

4

1

4

2

5

1

5

2

6

1

7

1

7

2

7

3

8

1

8

2

8

3

9

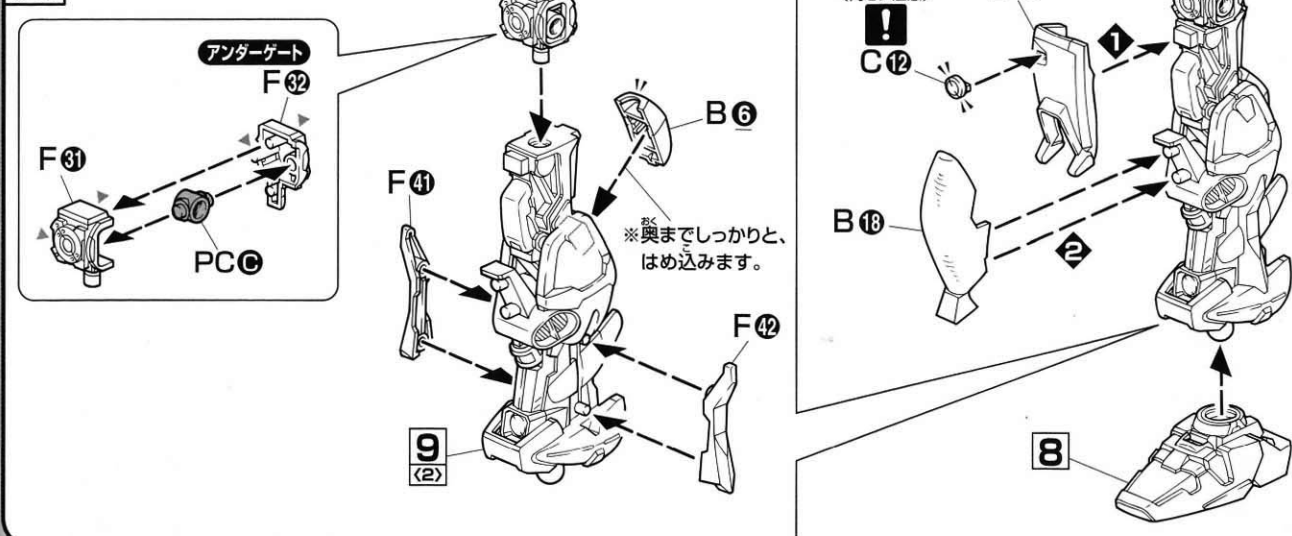
1

9

2

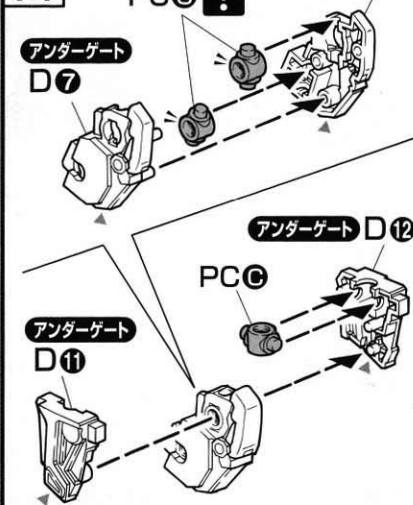
9

<3>



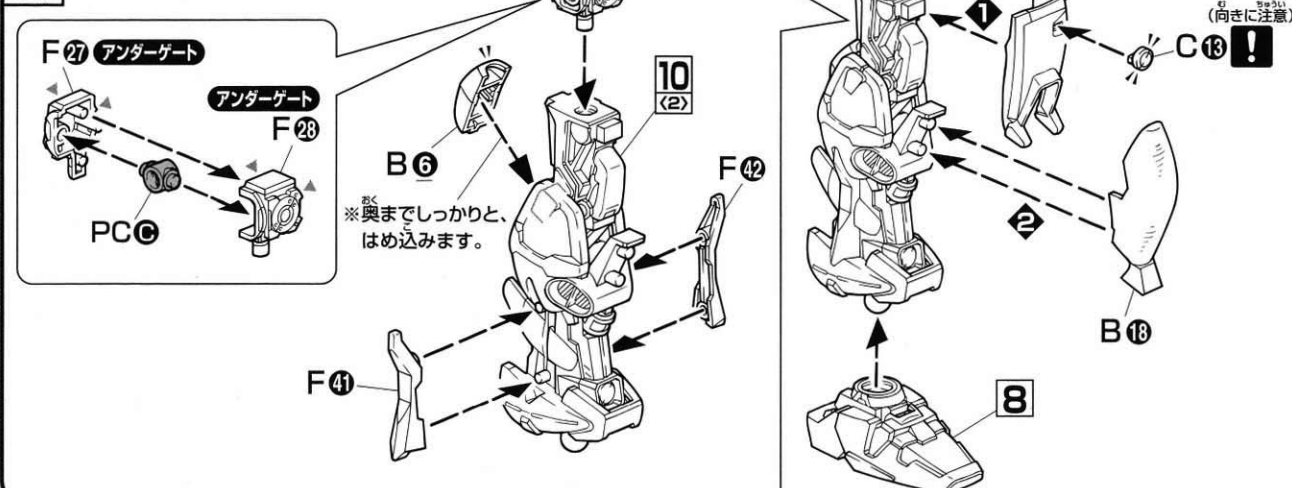
10

<1>



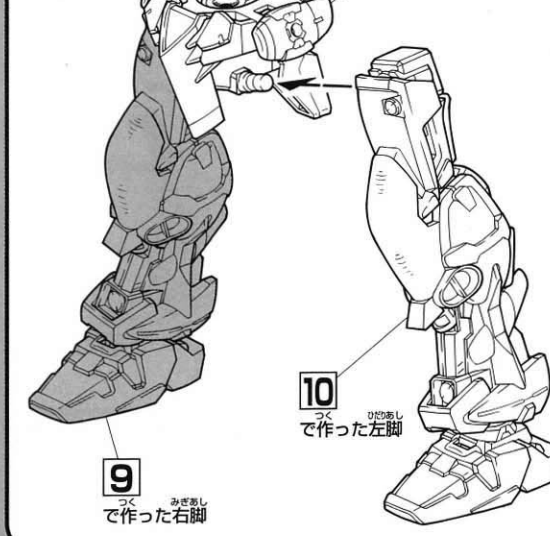
10

<3>



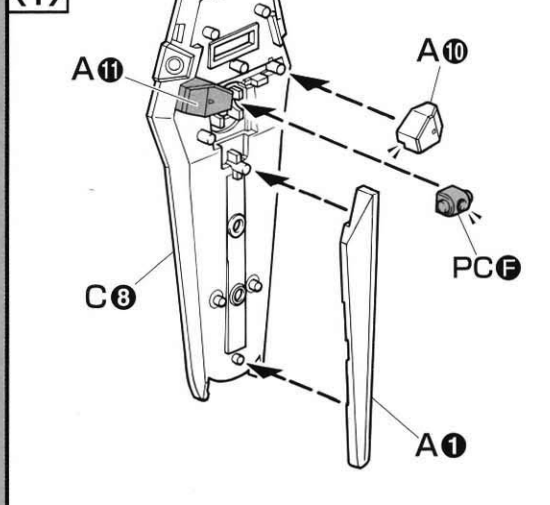
11

<1>



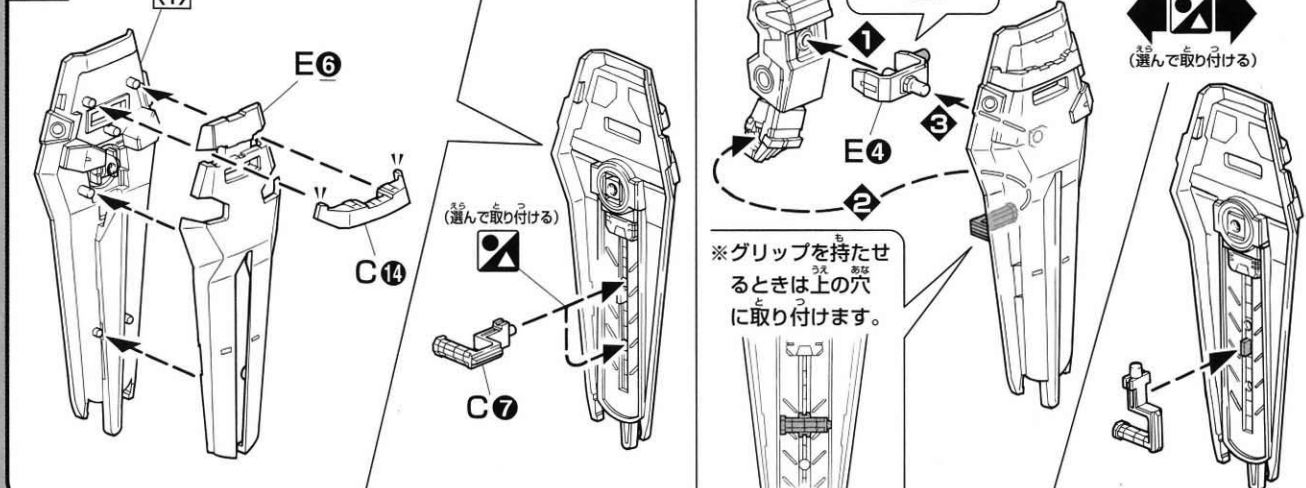
13

<1>

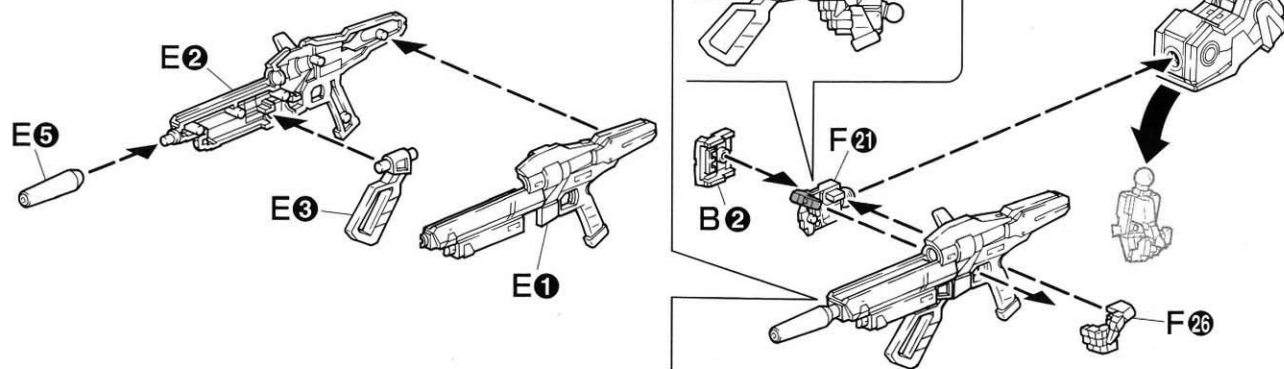


13

<2>

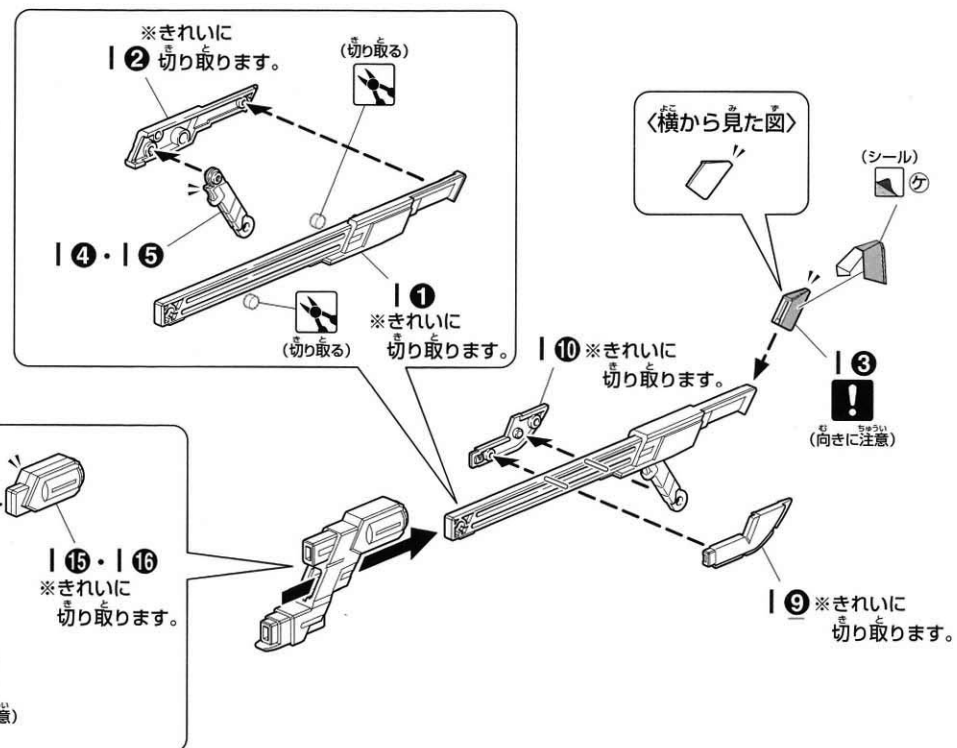


14



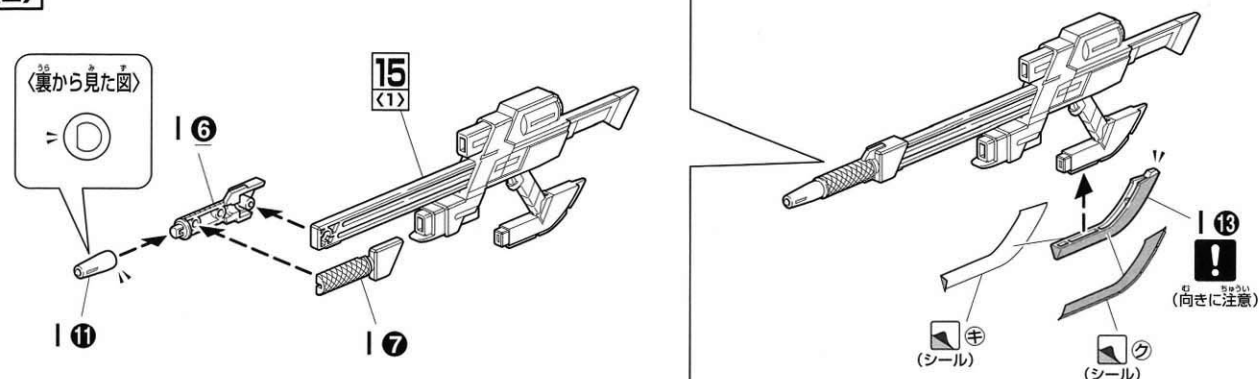
15

<1>



15

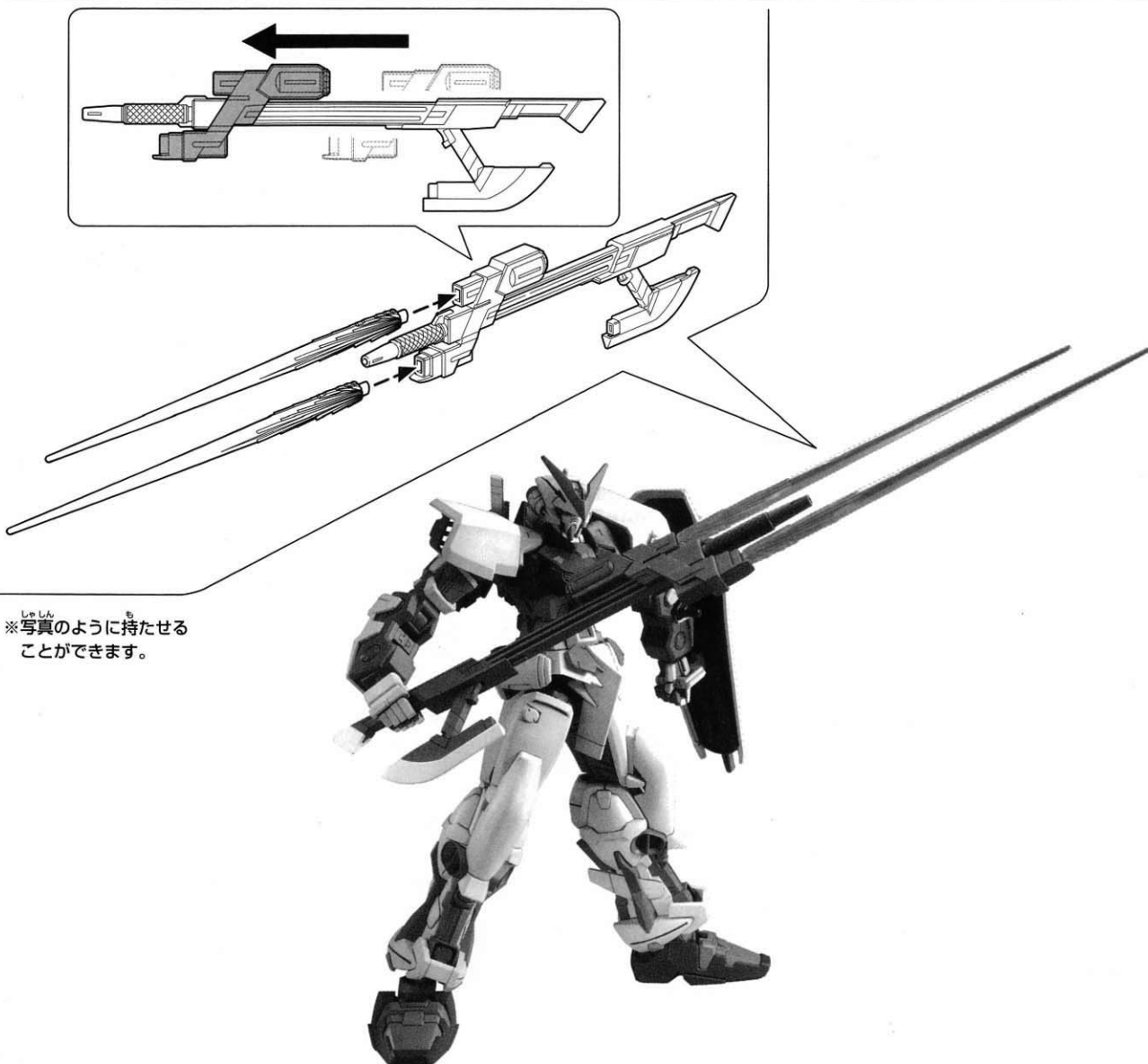
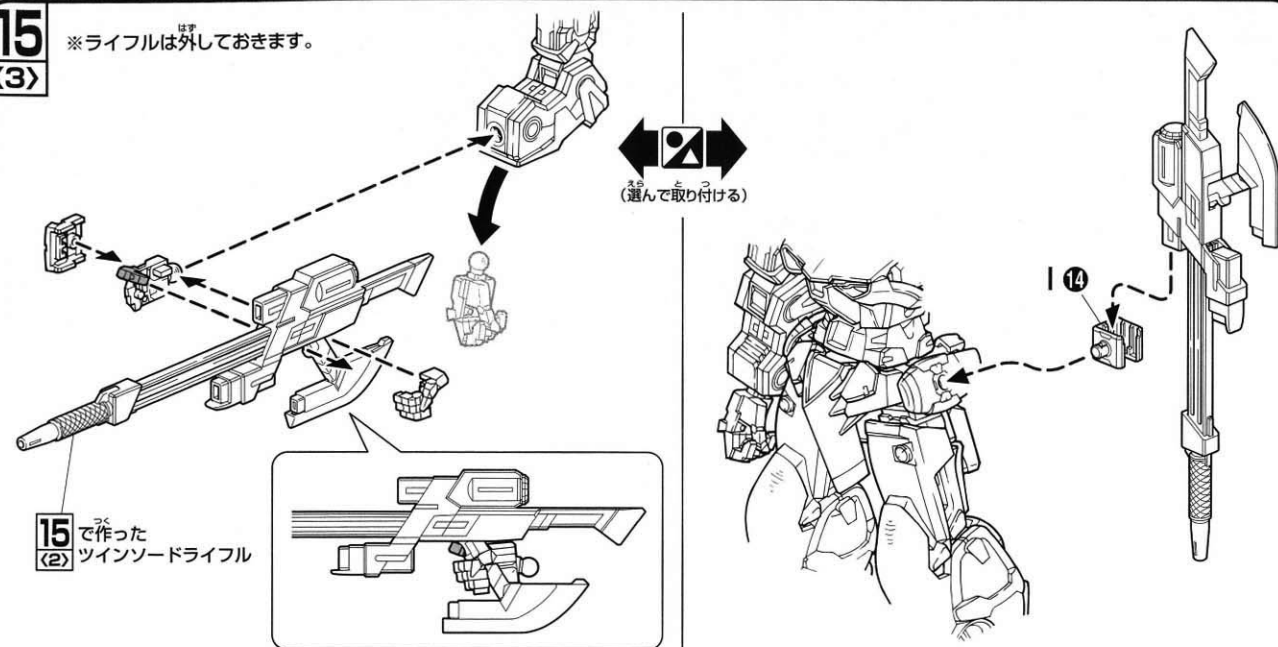
<2>



15

<3>

※ライフルは外しておきます。



※写真のように持たせることができます。

FRONT

REAR

機体解説 オープ連合首長国のコロニー、ヘリオポリスにおいて開発された自国防衛用MSのプロト機。開発に当たって、連合のGAT-Xシリーズの技術が使用されている。最終的に本機で得られたデータを元に本国でMBF-M1 M1アストレイが完成している。ヘリオポリスのプロト機は予備パーツまで入れて5機分が製作されたが、完成直後にヘリオポリスがザフトの襲撃を受け崩壊、5機はちりぢりになり、すべてが違った運命を辿ることになった。グリーンフレームは、パーツ状態でヘリオポリスの残骸の中に埋もれていたものが発見され、オープの軌道ステーション「アメノミハシラ」において修復されたものだ。修復を担当したのは、自らもアストレイ レッドフレームの所有者であるジャンク屋のロウ・ギュール。彼は、グリーンフレームに疑似人格コンピュータベースのAIを搭載した。このAIは、戦闘状況を分析し、完全な回避行動を可能とする。システムを最大限に発揮するため、グリーンフレームはセンサー系も強化されている。

●機体スペック(全高・重量・武装)
型式番号:MBF-P04
全高:17.53m
重量:49.8t
武装:ビームライフル
ビームサーベル
シールド
イーゲルシュテルン
ツインソードライフル



ガンダムアストレイ グリーンフレーム(トロヤ・ノワレ専用機)

GUNDAM ASTRAY GREEN FRAME

TROJAN NOIRET

トロヤ・ノワレ

ツインソードライフル

グリーンフレーム専用開発された武器。ビームサーベルとビームライフルの二つの能力を合わせたもので、これひとつで遠距離射撃戦と、近距離格闘戦を同時に行うことが出来る。その分、使いこなすのは難しく、バリーの弟子であるトロヤだけが使うことが出来る。



ビームライフル

MS用のビームライフルは、前大戦の初期段階において、はじめて連合で実用化された。本機のライフルはそのデータを使用しており、ほぼ同時期に採用されたものである。パワー供給は特殊プラグを通して本体から行われており、アストレイ以外の機体では使用出来ない。



ビームサーベル

アストレイの背中にセットされた格闘戦用武器。ミラージュコロイド用磁場形成機構を応用して、ビーム刃を作り出している。



イーゲルシュテルン

頭部左右に装備された対空自動制御機関砲。これもGAT-Xシリーズと同等のもので、同じ技術を利用している。グリーンフレームはセンサー強化により、高い命中精度を誇る。



バックパック

背面のバックパックは下方にスライドし、その下のジョイントに様々なオプションを装備することが出来る。アストレイは戦局に応じ、機体各部に装備を追加、あるいは換装することを想定し設計されている。その汎用性は広く、傭兵仕様となったブルーフレームの特注兵器や、ジャンク屋がスクラップからでっち上げた奇想兵器まで幅広く運用することが出来る。



シールド

連合のGAT-Xシリーズ用に開発されたシールド。オープにおいてもM1アストレイが標準装備として使用するなど、もっとも広く普及しているシールドである。表面は耐ビームコーティング仕様になっており、ビーム兵器に対しても高い防御力を持つ。



ASTRAY (王道ならざる者)の生き様を見届けよ!

オープで開発された5機のアストレイは、グリーンフレームの他にMBF-P01 Re2 ゴールドフレームアマツ、MBF-P02 レッドフレーム、MBF-P03 second L ブルーフレームセカンドLがある(MBF-P05は所在不明)。これらすべてがガンプラとして発売中だ。



アジア圏の村に住む青年。地域に進出してきた連合、プラントの双方から地域の平和を守るためにギリとなる。グリーンフレームは、元オープのエースパイロットであり拳法家であるバリー・ホーから渡された。トロヤは、バリーのことを「師匠」と呼んでいる。トロヤは若さ故に熱くなりすぎる所がある。また、ビームライフルの射撃テストで山火事を引き起こしたこともあり、仲間からは「密林のファイヤーボール」と呼ばれている。彼は、連合とプラントとの戦闘が激化する中で、様々な出会いを経て、人間的にも大きく成長することになる。やがてアジア圏での戦闘のキーマンとなる運命を持つ。

